



★利用メモ

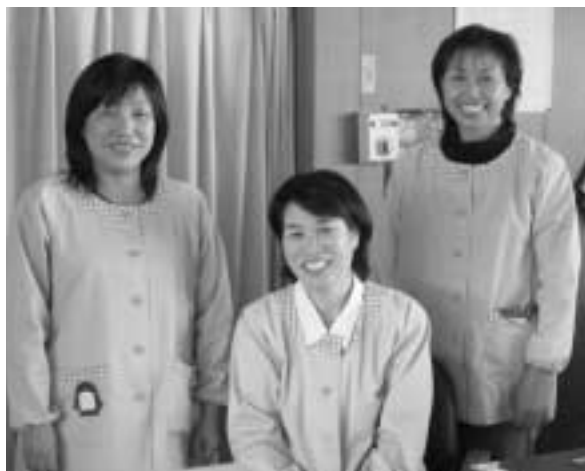
市内に4か所設置。子育て相談、子育てサークルの育成・支援、育児講座、子育て情報の提供、妊婦支援、子育てボランティアグループ育成・支援を行っています。
対象▶就学前の子どもとその親 **開設日時・相談日時**▶月～金曜日午前9時～午後5時(祝日を除く)

★利用メモ

市内に7か所設置。大型遊具などを備えた遊戯室や集会室、児童図書などがあります。
対象▶0～18歳の子ども(小学生未満は保護者同伴) **開設日時・相談日時**▶月～金曜日午前9時～午後5時(祝日を除く)

特集 安城市の子育て支援は今…

職員をどんどん利用してください



安城市子育て支援センターの
太田・斉藤・本多

子育て支援センターでは、親子で一緒に遊ぶことを楽しみながら交流を図る場の提供や子育てについての勉強会、イベントなどを行っています。イベントの目的は、センターを知ってもらうこと、そして参加されたお母さんたちの友達づくりをすることです。
 お母さんたちは個性豊か。本当にいろいろな力を持っているんです。その力を発揮するための拠点にセンターがあれば、お母さん同士がネットワークを広げて、みんなで楽

しく子育てができるのではないかと思っています。そのためにわたしたち職員をどんどん利用してください。
 また、センターでは子育てについての相談も行っています。今は一人で子育ての悩みを抱えている人が多いようです。その相談内容から身近に相談できる人がいないことが伺えます。苦しんでいる人に「大丈夫ですよ」って声をかけてあげたいんです。どんなことでもいいので気軽に相談してくださいね。

センターの存在はとても助かります

松本さん夫妻(池浦町)
もうすぐ赤ちゃんが生まれるそうです。



子育て支援センターのことは、保健センターで母子手帳をもらったときに、置いてあったチラシを見て知りました。わたしたちは2人とも幼い子どもに触れ合う機会がないので、今後の参考になればと

思っで見学に来ました。安城市に住んで3年。近くには助けてくれる親戚がいなため、これからの子育てには不安がありますが、このセンターのような存在はとても助かります。

今日は、マタニティ広場に参加。実際に子どもと触れ合ってみます。ほかにも先輩パパママの話を聞いたり、保育士からアドバイスをもらったり。

子育て支援センター

いつも誰かがいます



中部児童センターの児童厚生員
藤田・古永^{ふるなが}

中部児童センターは、近くに公園があり、誰でも好きな時間に来て、帰れる、そしていつも誰かがいる、という利用しやすい条件が整った場所です。平日はいつも近所のお母さんと子どもたちでにぎわっています。そして、ここに遊びに来たお母さん同士のネットワークができて、いろいろな情報のやりとりも行われているんです。週末にはお母さんだけでなく、お父さんや

おじいちゃん、おばあちゃん、子どもと一緒に来ることも多いんですよ。
 今は、主に保育園・幼稚園就園前の子どもとその親が利用していますが、もっと、小学生の子どもたちにも利用して欲しいんです。その中で、小さな子どもがお兄さん、お姉さんから刺激を受けて学べるようになればと思っています。

友達が増えました



馬渡清美さん 祐矢くん(池浦町)
今日はお友達もたくさん来ていました。

わたしたちは、この近くに引っ越してきましたが、引っ越し先を決めた理由は、子どもが遊べる公園があるから。引っ越し以来この児童センターにほぼ毎日来ています。こは、晴れでも雨でも子どもが遊べるので、とても助かっています。それから、ここに来ているうちに、だんだんとわたしも子どもも友達が増えたんですよ。



ほかの子と一緒に遊んでルールやマナーを学びます。



★利用メモ

仕事や病気、冠婚葬祭のほか、兄弟の学校行事や外出などのときに、提供会員に子どもを預かってもらったり、送迎をしてもらったりするための組織です。利用には依頼会員として事前に登録が必要です。

利用料金 ▶平日午前7時～午後7時→1時間600円 そのほかの曜日・時間帯 →1時間700円

対象 ▶依頼会員→安城市内に在住・在勤・在学で0歳～小学6年生までの子どものいる人 提供会員→安城市内に住の、心身ともに健康な自宅で子どもを預かることができる人(登録時に入会説明会があります) 開設日時 ▶月～金曜日午前9時～午後5時(祝日を除く) 申し込み ▶あんじょうファミリー・サポート・センター(☎<72>2315)へ

特集 安城市の子育て支援は今…

安心して子育てができます



依頼会員 西村文子さん
美言ちゃん・健人くん(三河安城南町)
とっても元気な二人です。

今、家には2歳の双子と小学1年生の子どもがいます。先日、小学校の行事があり、下の子たちを連れて行くことができないのでファミリー・サポート・センターを利用しました。

「センターの存在は知っているけど不安がある」「手続きが難しそうだ」という理由で預けられない人もたくさんいると思うんです。わたしも依頼会員になるまでは、他人に子どもを預けるということに不安がありました。でも、実際、提供会員は子育て経験の

ある人たちが多いので安心して預かってもらうことができます。登録はしているけれど、まだ実際に利用したことがないという人もいます。でも、本当に困ったことがあったときに預かってもらえる人がいると思うだけで、安心して子育てができるんですよ。「登録したからには利用しないと」ではなく「緊急のときのために」とりあえず登録しておく」という考え方もあるのかなと思います。

その人ができる時間で、できることを



あんじょうファミリー・サポート・センターの
新家・伊藤

ファミリー・サポート・センターは、子どもを預けたい人が依頼会員に、子どもを預かることのできる人が提供会員になって助け合う会員組織です。わたしたちは依頼会員からの希望を聞いて、条件にあった提供会員を紹介する仲介役をしています。

他人に子どもを預ける、他人の子どもを預かるということとで、初めてのときは不安に思う人が多いと思います。だから、事前に子どものことについて打ち合わせをして、お互いに安心できる状態になっ

てから預かってもらうようにしています。わたしたちが今、一番悩んでいることは、依頼があったとき、どの提供会員を紹介すれば安心してもらえるかということです。発足当時に比べ、今はニーズが多様化してきました。例えば「同じ年齢くらいの子どもがいるところで一緒に遊んで欲しい」「経験がある年

輩の人がいい」など、ただ預かってくれればいいというだけではなく、子どもにとっていい環境を求めているのです。でも、提供会員に対して、依頼会員が3.75倍もいるという現状では、必ずしもすべての希望に応えられるわけではありません。

提供会員は「その人ができる時間で、できることをするだけ」でもいいんです。多くの人に提供会員として登録してもらえれば、多様なニーズに応えることができるようになっていくと思います。

「案ずるより生むが易し」でした



提供会員 岡野美智代さん(安城町)
とっても優しい、子どもたちの「おばあちゃん」です。

一番最初にお子さんを預かったときは「どうやって接すればいいのか」「なついてくれるのか」と不安がありました。でも実際に預かってみると「案ずるより生むが易し」でした。やっていてとても楽しいんです。

何度か同じ子を預かるうちに、「おつ、また来たか」「あつ大きくなったなあ」と声をかけるようになって、自然に子どもたちと触れ合うようになりました。

それから、わたし自身、子どもたちの話を聞いたり、接したりすることで、元氣ももたっている感じもするんです。これまで、2年半の間、いろんなお子さんを預かってきましたので、今では、どんな子が来るのかなあとちよつとワクワクしながら待っているんですよ。

提供会員による

送迎の様子



提供会員の神谷なみ代さんが杉山友浩くん(7歳)・貴紀くん(5歳)兄弟をお迎えに行きます。

←児童クラブで友浩くんをお迎え。待っていた友浩くんもうれしそうです。

→今度は貴紀くんのお迎えに保育園へ。お兄ちゃんも一緒にバイバイ。





特集 安城市の子育て支援は今…

安城市子育てガイドマップ

■児童クラブ

- ①里町児童クラブ(里町小学校内／☎<98>7703)
- ②二本木児童クラブ(T O C Oビル2階／☎<76>9121)
- ③中部児童クラブ(中部小学校内／☎<74>7531)
- ④桜井児童クラブ(桜井公民館内／☎<99>3313)
- ⑤祥南児童クラブ(祥南小学校内／☎<76>2266)
- ⑥南部児童クラブ(南部小学校内／☎<77>4392)
- ⑦北部児童クラブ(北部小学校内／☎<98>3537)
- ⑧錦町児童クラブ(錦町小学校内／☎<72>5410)
- ⑨作野児童クラブ(作野小学校内／☎<72>5415)
- ⑩三河安城児童クラブ(三河安城小学校内／☎<72>2870)※
- ⑪西部児童クラブ(西部小学校内／☎<72>2837)
- ⑫丈山児童クラブ(安城建設高等職業訓練校内／☎<92>1127)
- ⑬明和児童クラブ(明和小学校内／☎<48>2368)
- ⑭桜林児童クラブ(桜林小学校内／☎<99>2357)
- ⑮新田児童クラブ(新田小学校内／☎<76>4987)
- ⑯東部児童クラブ(東部小学校内／☎<74>5570)
- ⑰高棚児童クラブ(高棚小学校内／☎<92>7723)
- ⑱志貴児童クラブ(志貴小学校内／☎<97>6310)
- ⑲桜町児童クラブ(桜町小学校内／☎<72>6361)
- ⑳今池児童クラブ(今池小学校内／☎<98>8380)
- ㉑梨の里児童クラブ(梨の里小学校内／☎<77>7031)

■民間の児童クラブ

- ㉒なかよしクラブ(☎<74>3664)
- ㉓ひまわりクラブ(☎<74>4400)
- ㉔学童保育みつばちぶんぶん(☎<98>7702)
- ㉕安城つくしクラブ(☎<76>7567)

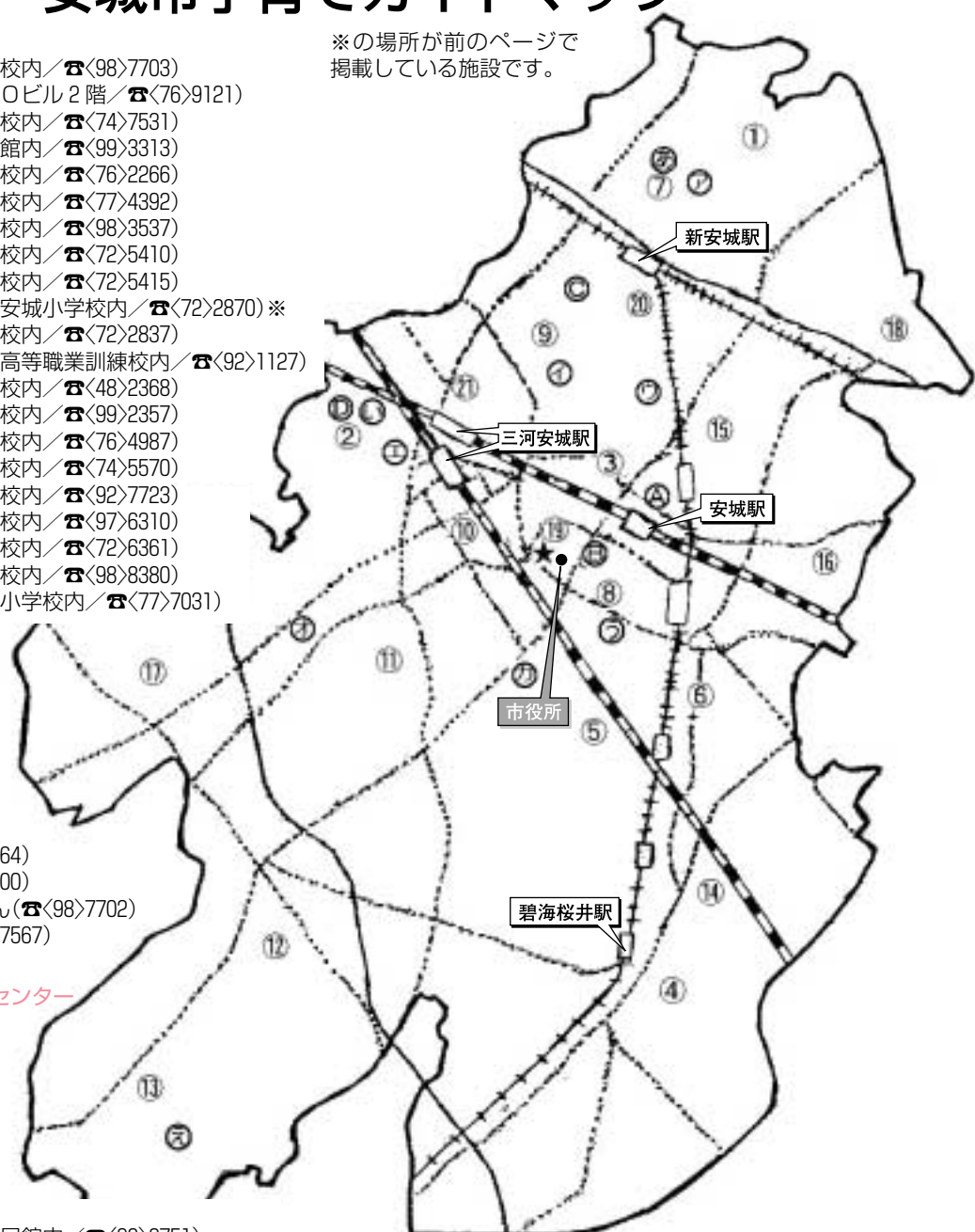
■ファミリー・サポート・センター

- ★あんじょうファミリー・サポート・センター
(☎<72>2315)※

■児童センター

- ㉖北部児童センター(北部公民館内／☎<98>3751)
- ㉗作野児童センター(作野公民館内／☎<74>3977)
- ㉘中部児童センター(中部公民館内／☎<74>8570)※
- ㉙二本木児童センター(二本木公民館内／☎<77>8611)
- ㉚西部児童センター(西部福祉センター内／☎<72>6616)
- ㉛中央児童センター(総合福祉センター内／☎<77>7888)
- ㉜桜井児童センター(桜井公民館内／☎<99>3313)

※の場所が前のページで掲載している施設です。



■子育て支援センター

- ㉝あけぼの子育て支援センター(あけぼの保育園内／☎<97>2276)
- ㉞二本木子育て支援センター(二本木保育園内／☎<77>2774)
- ㉟安城市子育て支援センター(錦保育園内／☎<73>6336)※
- ㊱根崎子育て支援センター(根崎保育園内／☎<92>0089)

★利用メモ

市内に公立21か所設置。保護者や同居の祖父母などが就労などで面倒を見られない場合、子どもを預かる場所です。(負担金が必要です)

対象▶小学1～3年生 開設時間▶小学校の授業終了後(土曜日や夏休みなどの長期休業日は朝から) 申し込み▶各児童クラブまたは児童課子育て支援係へ(入会は原則、年度更新です) ※民間児童クラブも市内に4か所開設しています。

子どもたちが「帰ってくる」場所です



三河安城児童クラブの児童厚生員
伊藤・深谷・比野・菅

児童クラブは、小学校の授業終了後、子どもたちが、家庭のかわりに「帰ってくる」場所。宿題をやったり、おやつを食べたり、友達と遊んだりしながら、保護者がお迎えに来るのを待っています。子どもたちが帰ってきたときは「おかえりなさい」と声をかけながら一人ひとりの様子を気をつけて見るようにし

ています。子どもたちは「今日は学校でこんな楽しいことがあったんだよ」「こんなことがいやだったよ」と親に話したいんです。そんな気持ちを受け止め、親の気持ちとなつて接するように努力しながら、保護者への橋渡し役も担っています。児童クラブは保護者にお迎えに来てもらうことになっています。でも、急に残業が入り、時間までにお迎えに来ることができないことがあるんです。そんなときは、友達のお母さんにお願ひしたり、ファミリー・サポート・センターの会員さんが来てくださったりすることもあります。



利用していると安心

立石真弓さん・健介くん(小学3年生)
(箕輪町)
この児童クラブの男の子のなかでは、一番お兄さんです。



いつもにぎやかな児童クラブの子どもたち。でも、宿題の時間は集中！

普段、仕事が終わるのは午後4時くらい。でも、その日になって突然仕事なが引いて5時くらいまでかかることがあります。そんなときでも児童クラブを利用していると、とても安心です。また、学校から家まで遠いこともあり、帰り道が心配なので、一緒に帰ることができるのもメリットだと思います。

トだと思っています。ただ、子ども自身は近所や同じクラスの友だちと遊べないので少し不満があるようです。子どもの意見も聞いてあげたいけれど、子ども一人での留守番はとても不安があります。今、児童クラブを利用するには、事前の手続きが必要ですが。でも、急に用事ができたときに困っている親はたくさんいると思います。そんなときに簡単に利用できる施設や制度があると、とても助かると思います。

安城市内をくると循環する「あんくるバス」。平成12年10月に2路線の運行から始まったこの市内循環バスも、現在は7路線、運行距離の総延長は189km余となりました。公共交通機関の利用ができなかった地域が減り、公共施設や中心市街地への足として多くの人に利用されています。

今回の特集では、田園風景の広がる市内南部地域と中心市街地を結ぶ南部線をたどりながら、利用者の皆さんの声とあんくるバスの魅力をお伝えします。

特集

あんくるバスの車窓から

～南部線をたどります～



特集 安城市の子育て支援は今...

児童厚生員を募集します

- 勤務日時 来年4月から 週3～4日
児童センター→午前9時～午後5時(平日は午後1時～5時)
児童クラブ→午後1時45分～6時45分(学校休業日は午前8時～午後6時45分の間で交代勤務)
- 勤務場所 市内各児童センター・児童クラブ
- 勤務内容 児童センター・児童クラブで乳幼児・児童に遊びや生活の指導をします。
- 対象 保育士資格または教員免許を持ち、日～月曜日のいずれも勤務できる、57歳くらいまでの人
- 定員 15人程度
- 時給 990円
- 申し込み 申請書または市販の履歴書に保育士証・教員免許状を添えて12月20日(木)までに児童課子育て支援係へ
※申請書は同課で配布。

★民間の児童クラブでも指導員の募集をしています

賃金、勤務日など詳細については各民間児童クラブへ問い合わせてください。
ひまわりクラブ(☎74)4400 学童保育みつばちぶんぶん(☎98)7702
なかよしクラブ(☎74)3664 安城つくしクラブ(☎76)7567



取材を終えて

わたし自身、まだ子どもがいないので、子育ての実感がありません。でも、取材中には「もし自分に子どもがいたら、こんなときどうするんだろう？」と何度となく考えさせられることがありました。そして、話を聞いていくうちに、子育てには、まず情報が必要だと感じました。取材をした多くの人が「安城市は子育ての施設・設備はそろっている」と話してくれました。しかし、同時に「いろいろと便利なものがあったても、よく知らないから使えない・使わない」という意見もありました。この特集がそういった施設を知る「子育てのための情報源」になれば幸いです。(S)

